

資料

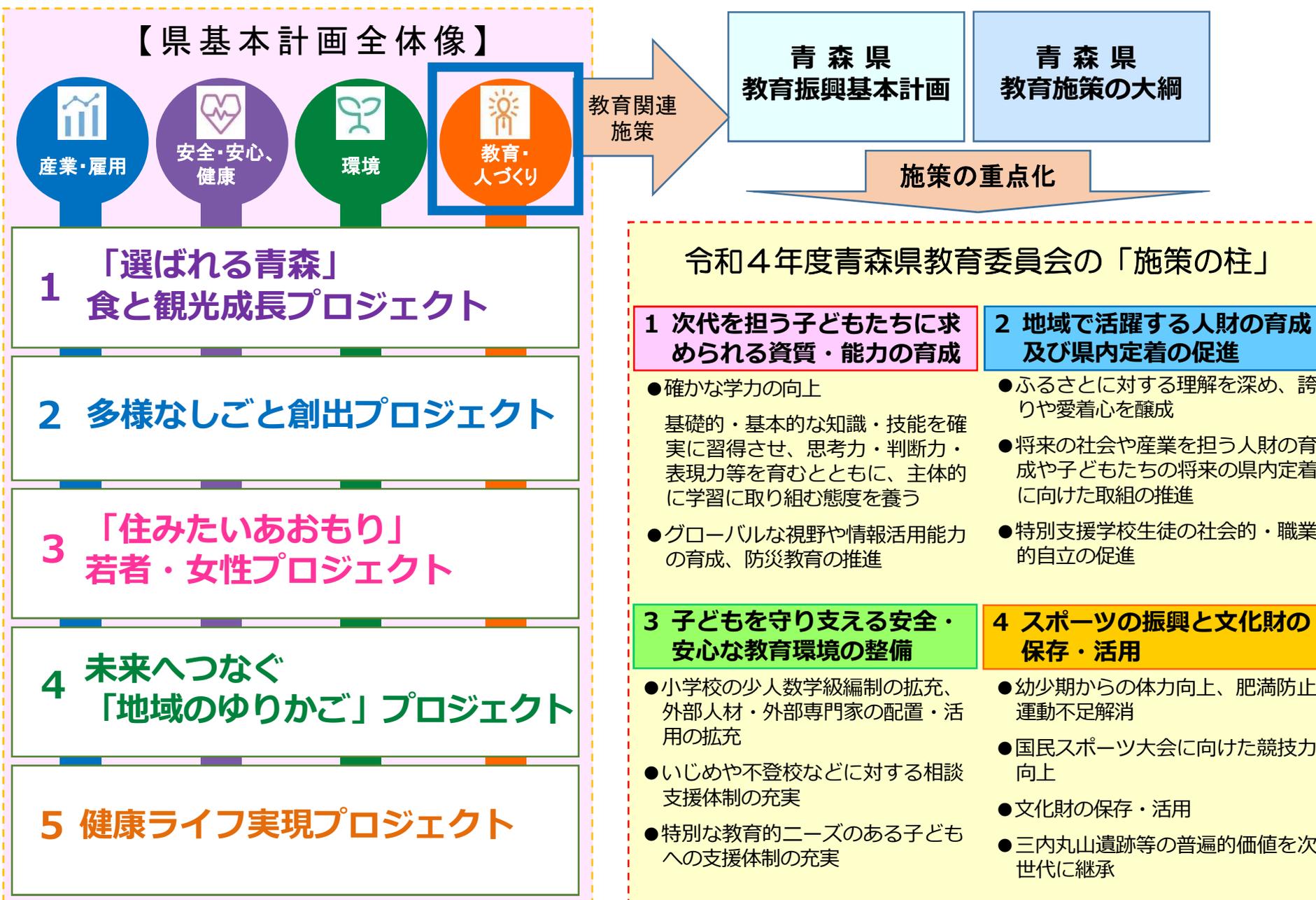
第16回青森県総合教育会議

本県教育の現状と課題を踏まえた
教育施策の方向性について

説明資料

令和4年10月4日

教育施策の位置付け



令和5年度の教育施策推進に向けて

本県をとりまく課題

人口減少

人手不足

2025年以降
超高齢化時代

平均寿命
・健康寿命

コロナ禍の長期化等により、
一層深刻化・複雑化

R5「取組の重点化」基本方針（知事指示事項）

令和5年度における施策展開の3つの視点

- **経済を回す** 疲弊した地域経済の回復、外貨獲得による経済の活性化
- **暮らしを守る** 孤独・孤立への対応、心身の健康と安全の確保
- **DX** あらゆる分野でのデジタルによる変革

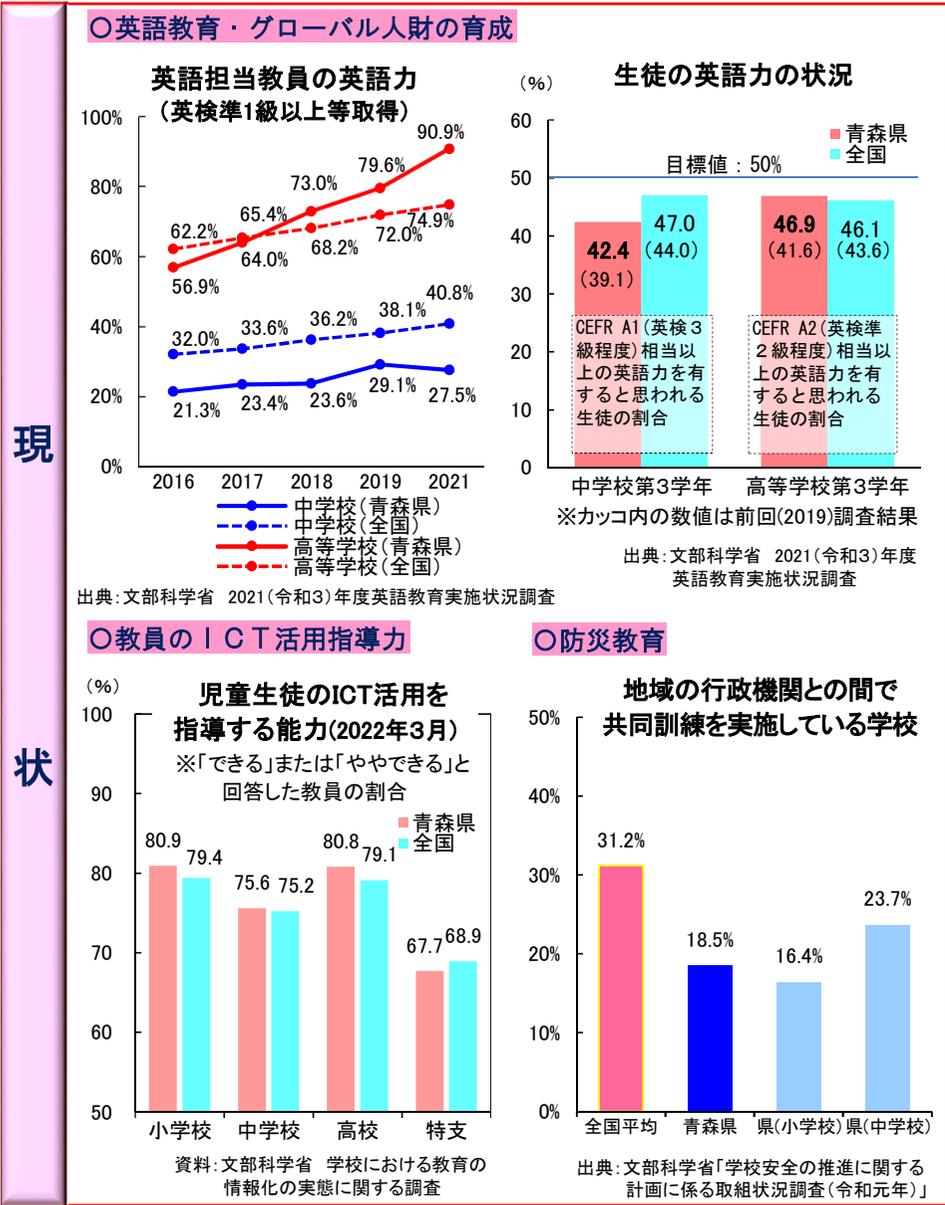
本県教育をめぐる状況

- コロナ禍による**少子化の加速**
- **若者の地元回帰**の傾向
- **ICT化**の加速度的進展（1人1台端末）
- **教員の多忙化**、教員不足の顕在化
- 子どもたちの多様化、SDGsの理念を踏まえた教育への対応（誰一人とり残さない教育）
- 2026年の**国民スポーツ大会**の本県開催
- 肥満傾向児出現率の上昇
- **世界遺産**「北海道・北東北の縄文遺跡群」をはじめとする文化財の保存・活用の推進

取組の方向性（主なもの）

- 郷土に対する誇りと愛着を育み、**若者の県内定着を促進**
- 学校における**ICTの効果的活用**の推進
- 学校における**働き方改革**の推進、教員確保
- 学校・家庭・地域の連携・協働により、次代を担う子どもたちを育成
- 特別支援教育の更なる充実・発展
- 国民スポーツ大会開催を契機とする**スポーツ意欲の向上と健康づくり**（知事部局と強力に連携）
- **縄文遺跡群の普遍的価値の未来への継承**

1 次代を担う子どもたちに求められる資質・能力の育成



- 課題**
- 学習指導要領に基づく英語教育の充実と児童生徒及び教員の英語力向上
 - 幅広い教養や問題発見・課題解決能力等を身に着けたグローバル人材の育成
 - ICTを活用した学習実践活動の充実、教員のICT活用指導力向上
 - 新しい防災モデルの構築、大川小事故の教訓を踏まえた学校防災体制の強化

- 取組の方向性**
- 英語担当教員の英語力・指導力向上及び英語教育における小中連携のための研究協議会の実施、英語教育推進教師の育成
 - 国際バカロレアの理念に基づく教育プログラムの開発・実践、台湾の高校との相互交流
 - ICT活用指導力を高めるための実践研究への支援、研修機会の創出、リーフレットの作成 等
 - 防災教育モデル指定校の取組等をまとめ防災教育関連資料を作成し成果を普及

現

状

2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進(1)

現
状

○県内定着促進について

令和4年度あおもり創造学推進校:26校
※プラン例

学校名	プラン名称
弘前高等学校	「あおもり創造学」弘前高校バージョン～地域に根ざしたアイデンティティの形成～
八戸高等学校	八戸発見学～地元の「強み」を見てみよう
柏木農業高等学校	青森県特産物の活用による地域農業振興と郷土愛の醸成をめざして
五所川原工科高等学校	地域のSDGs～持続可能な地域をめざして
八戸中央高等学校	地域連携と防災意識の向上～津波避難ビルの活用～

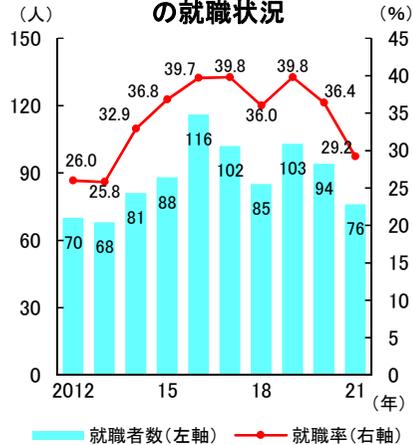
新規高等学校卒業生の県内就職率

卒業年月	県内就職希望者	県内就職内定者
	前年6月末	当年3月末
令和2年3月	63.0%	53.1%
令和3年3月	64.3%	57.0%
令和4年3月	68.0%	62.3%
令和5年3月	67.5%	-

※公務員、自営等の就職希望は除く
出典:青森労働局

○特別支援学校における職業教育について

特別支援学校高等部生徒の就職状況



資料:教育庁

特別支援学校高等部卒業生の職場定着率



(注)特別支援学校高等部卒業後3年間同じ職場で勤務している者の割合(各年3月)

資料:教育庁

課
題

- 子どもたちに地域への愛着を持たせ、地域課題解決能力や郷土への貢献意欲を育む取組の推進
- 高校生の県内就職促進に向けた支援
- 地域産業など経済社会の持続的発展を担う職業人と世界にチャレンジする人財の育成
- 特別支援学校児童生徒の進路実現のための体制整備、キャリア教育及び職業教育の充実

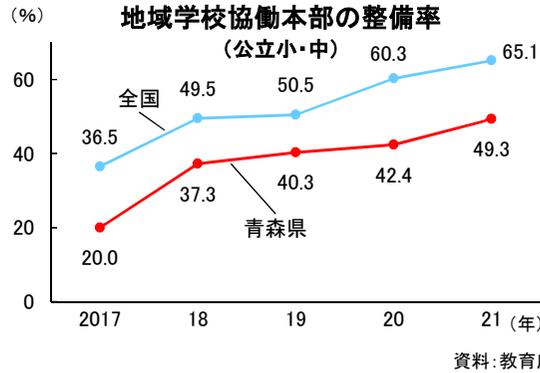
取
組
の
方
向
性

- 全県立高等学校において地域への理解を深める学習「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラムを実施
- 就職支援員配置継続
- 台湾の高校及び県内商業高校と連携し、台湾及び県内での販売実践を核とするビジネスプロジェクトの協働実践
(市内ベンチャー事業)
- 特別支援学校技能検定で新たに農業分野の検定を実施

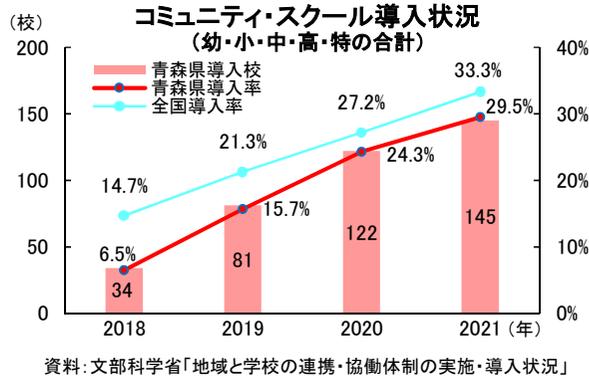
2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進(2)

現
状

○地域学校協働活動について



○コミュニティ・スクールについて



県立学校における導入状況

高等学校	黒石	
特別支援学校	八戸盲・八戸聾	弘前聾
	青森第一高等養護	浪岡養護
	森田養護	八戸高等支援

課
題

- 市町村に対する地域学校協働本部の整備促進、県立学校における地域学校協働活動の推進
- 県立高等学校への学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の導入

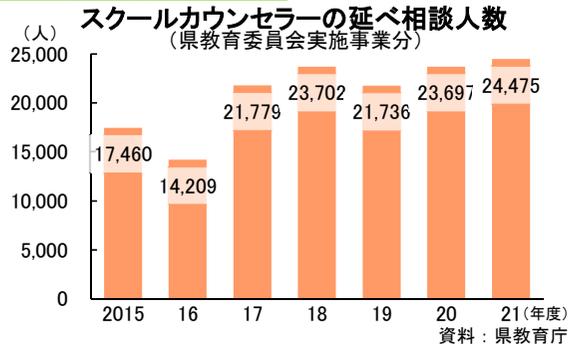
取
組
の
方
向
性

- 研修や相談受付による市町村への地域学校協働活動支援、学校と地域活動者・企業とのネットワークづくり、モデル県立学校と地域をコーディネートする推進員の配置
- 令和4年度内に学校の意向を確認した上での県立高等学校へのコミュニティ・スクール導入拡充、導入校における取組の情報共有の場の設定、令和6年度以降の段階的な拡充

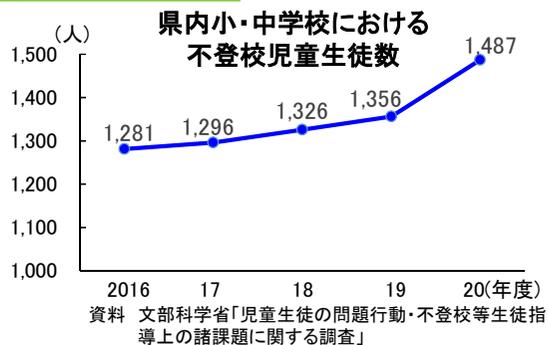
3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備(1)

現
状

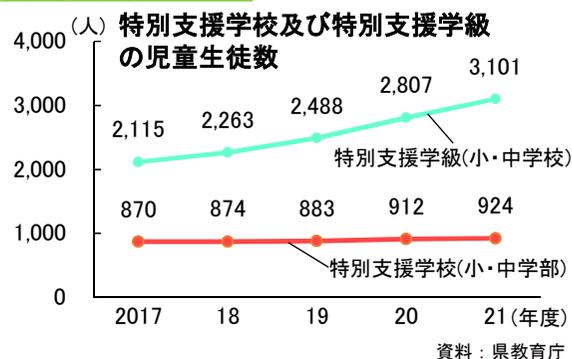
○いじめ防止対策について



○不登校の状況について



○特別支援教育について



課
題

- 学校のいじめ防止対策
- 増加傾向にある不登校児童生徒への支援の充実
- 特別支援学校のセンター的機能の充実
- 外国人児童生徒への支援
- 部局横断的な幼児教育に係る取組の推進
- 医療的ケアを必要とする幼児児童生徒への対応の更なる充実

取
組
の
方
向
性

- いじめ防止対策推進法の理解促進と組織的対応力の向上、SCやSSWの効率的・効果的な配置・派遣
- 不登校支援の在り方研究、民間施設等との連携による支援の充実
- 関係機関と連携し障害のある子どもへの支援策の検討、教員の専門性向上を図る取組の実施
- 県内関係機関と連携し、外国人児童生徒に対する日本語支援プログラムを実施
- 幼児教育アドバイザーの配置や窓口の一本化、部局横断的な支援の充実
- 医療的ケア児対応のため、学校看護師等向けの研修の実施、学校向けガイドブックや保護者向けリーフレットの作成

3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備(2)

現
状

○少人数学級編制について

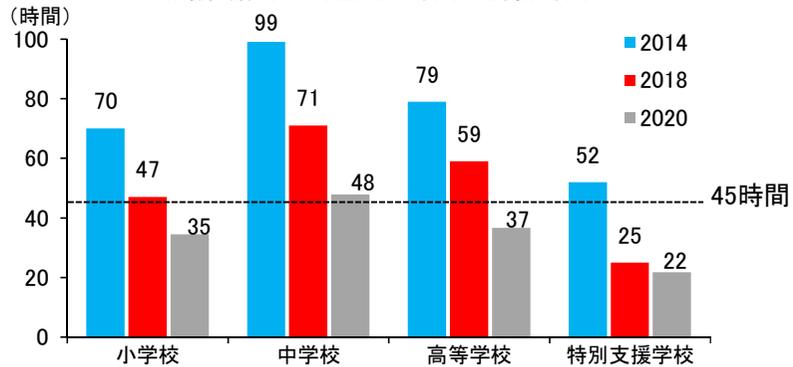
あおもりっ子育みプラン21（学級編制基準引き下げ状況）

年度		H13	H14	H15	H16~22	H23	H24~26	H27	H28~R2	R3	R4
小学校	1年	40人	33人								
	2年	40人		33人							
	3年	40人				33人					
	4年	40人						33人			
	5年	40人								33人	
	6年	40人									33人
中学校	1年	40人		33人							
	2年	40人									
	3年	40人									

資料：県教育庁

○学校における働き方改革について

教諭・講師の月当たり時間外勤務時間



資料：県教育庁

課
題

- 少人数学級編制の拡充要望への対応
- 教職員の働き方改革推進
- 公立小学校における教員不足への対応
- 県立学校施設の老朽化の解消等

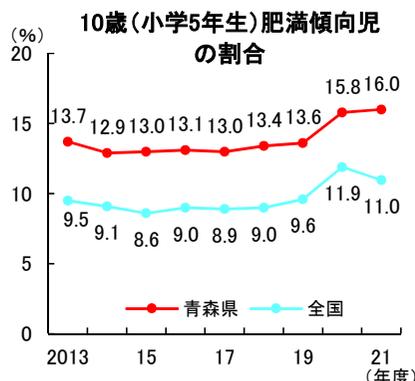
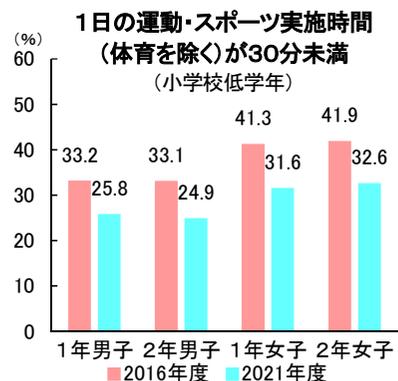
取
組
の
方
向
性

- きめ細かな指導のために必要な方策（「あおもりっ子育みプラン21」、国への定数改善要望など）の検討・実施
- 外部人材の配置や拡充の検討
- 公立小学校の教員不足解消のため、大学生等に対し教員の魅力をPRする取組等の実施
- 施設整備事前調査を踏まえ、県立学校施設の長寿命化または改築に向けた整備計画を作成し、計画的な老朽化解消を実施

4 スポーツの振興と文化財の保存・活用(1)

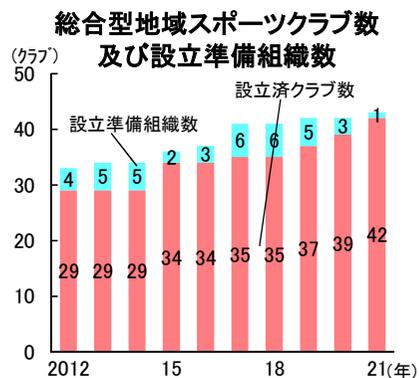
現

○体育・健康教育について

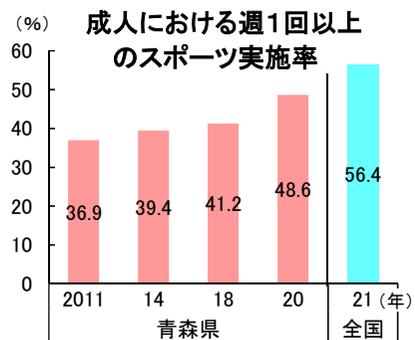


資料: 県教育庁「児童・生徒の健康・体力」(両資料とも)

○スポーツ振興について



資料: 教育庁



資料: 教育庁「県民の健康・スポーツに関する意識調査」スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

○部活動の地域移行

文部科学省「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」(令和2年9月)

休日に教師が部活動に携わる必要がない環境及び休日において部活動を地域の活動として実施できる環境の構築を目指し、令和5年度以降に、休日の部活動の段階的な地域移行(学校部活動から地域部活動への転換)を推進すると示している。※主な対象は公立中学校

課題

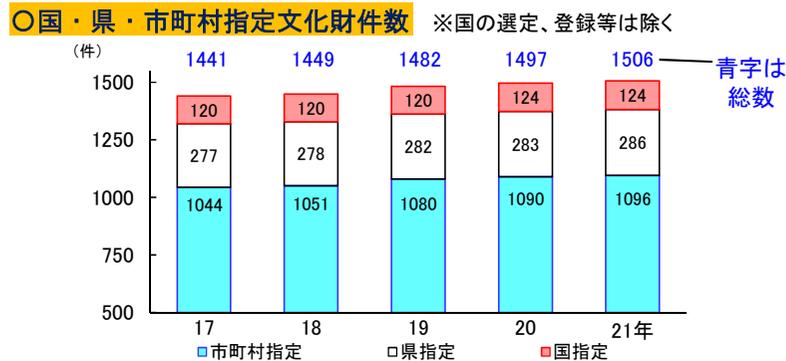
- 子どもの体力向上、肥満防止対策の更なる推進
- 総合型地域スポーツクラブの質的充実等による成人のスポーツ実施率向上
- 休日の部活動の段階的な地域移行へ向けた取組
- 国民スポーツ大会の開催等を見据えた有力選手等の確保や効率的・効果的な選手の育成・強化

取組の方向性

- 運動習慣の定着や食習慣の改善による肥満傾向児出現率の改善
- 総合型地域スポーツクラブの活用による地域の健康課題克服に向けた実践
- 令和5年度から7年度までの部活動の地域移行集中期間における対応の検討
- 本県出身有力選手等の県内定着(就職・定住)に向けた支援、選手雇用制度開始

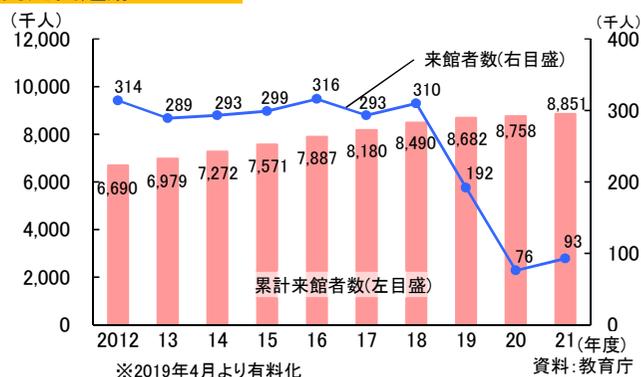
4 スポーツの振興と文化財の保存・活用(2)

現
状



資料: 県教育庁「青森県の文化財保護行政」

○三内丸山遺跡について



○世界遺産登録について

- 世界遺産登録に関連する取組等 (令和3年7月以降)**
- 令和3年7月～11月 特別展「あおもりの縄文世界」開催
 - 11月 世界文化遺産登録記念シンポジウム
 - 12月 三内丸山遺跡に係る世界遺産一覧表記載認定書(レプリカ)設置
 - 令和4年4月 三内丸山遺跡センター内に世界文化遺産課を新設
 - ・縄文遺跡群世界遺産本部等の運営、
 - ・縄文遺跡群の魅力発信・普及啓発等
 - 7月 特別展「北海道・北東北のJOMON」開催
 - 9月 英国ストーンヘンジで三内丸山遺跡出土品の展示

課
題

- 文化財の活用や保護意識の醸成、地域全体での継承
- 県内各市町村から出土した縄文遺物の活用
- 三内丸山遺跡における来訪促進、遺跡の価値を未来に継承する取組の推進
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の適切な保全・活用の推進、来訪・周遊促進、受入態勢整備

取
組
の
方
向
性

- 地域の文化財を題材とした小学生向け学習・体験プログラムの実践、学習・プログラム集の作成等
- 「地元の縄文」の価値や魅力を伝えるため、授業用の縄文遺物セット作成、出土品カード作成・配布、シンポジウムの開催
- 三内丸山遺跡について外国人向けのPR、地域住民や幅広い世代に遺跡に携わる活動への参画促進等
- 4道県共同で縄文遺跡群への来訪・周遊を促進するプロモーションの実施、フォーラム開催等による学術的価値の浸透
- 県内外でのプロモーション等による青森県内の縄文遺跡群の認知度向上、ガイド育成等に資する取組の実施